

設計図書に対する質問の回答書

令和 7 年 7 月 15 日

入札参加業者 各位

東 広 島 市 長

工事（業務）名	令和 7 年度 東広島市下水道事業 維持管理情報等電子化業務（全 07-1）
工事（業務）場所	東広島市内一円
工事（業務）担当課	下水道部下水道施設課
質問事項	1 竣工図はどの様に管理されていますでしょうか。製本ではなく 1 枚ずつ直ぐに展開できる状態と考えてよいでしょうか。 2 竣工図のファイリング PDF について、1 工事 1 ファイルで作成すると考えてよろしいでしょうか。その場合、図種を分けるしおりは不要と考えてよいでしょうか。 3 標準仕様書中、3.2(4)②工事番号の GIS 入力について、「参考とし」と文言から、下水道台帳の shape データに工事番号の項目を設けて入れるのではなく、管渠ラインを作成して工事番号を入れるようにもとらえられますが、納品項目では SHP がないことから、台帳図に工事番号項目を新設し、ぶら下げると解釈しております。もし台帳のデータに紐づけを考えられているのであれば、台帳図上のユニークな番号と対比して工事番号を紐づけできる対応表を作成すれば良いと考えておりますが、解釈は合っていますでしょうか。 4 スキャニング枚数・用紙サイズごとの内訳と、製本・ケースの種類および数量も併せてご教示ください。 5 紙図面の状態をご教示ください。製本や図面ケースなどに保管されていると思いますが、製本の種類（ビス留め・解体できない製本など）や、図面ケース（筒に保管や図面ケースに保管）などの詳細と数量の内訳をご教示ください。 6 製本された資料を閉じた状態で計測すると、最大どのくらいのサイズかご教示ください。（例：A3・A2・A1 など） 7 製本資料の冊数・厚さ、解体可能か否か、解体後の復元可否をご教示ください。 8 PDF の構成形式（シングル／マルチファイル）、フォルダ構成やファイル名命名規則についてご教示ください。

質問事項	9 紙図面に付箋／メモがある場合は原本ごとスキャンするのか、除去後か、復元は必要かご教示ください。 10 資料の劣化状態についてご教示ください。劣化がひどいものがあった場合、修復を行うことは可能かご教示ください。 11 資料の返却は納品時で問題ないでしょうかご教示ください。 12 スキャニング後の原本は納品時に返却で問題ないでしょうか。それとも受託者側で処分するのでしょうか。ご教示ください。 13 3.2 工事竣工図電子化作業(4) 工事番号の GIS データ入力②工事番号の GIS 入力 位置の確認がとれた工事対象施設に対し、GIS システムの属性情報にて工事番号を付与する。 →工事番号を付与する施設は人孔・管渠・柵・取付管でしょうか。 14 第4章成果物 4.1 成果物の確認 本業務で作成する GIS データが、GIS システム上で適正に搭載できることを、調査職員の確認を受けるものとする。確認にあたっては、受注者の所有する GIS システムに、成果となる GIS データを搭載し、動作確認を行うものとする。成果の確認後、本業務成果となる GIS データの定義書を作成し報告書とする。 →GIS データの搭載は発注者で行うのでしょうか。 またファイリングの表示確認はどのように行われるのでしょうか。
回答	1 竣工図は、紙図面を折りたたみ、図面袋へ収納している。 2 竣工図の PDF は、1 工事 1 ファイルとし、しおりは不要である。 3 台帳データに工事番号を付与し、竣工図 PDF と紐づける。 4 アナログ成果は、A1 図面を 1 工事 5 枚程度、図面袋へ収納している。 5 折りたたみ、図面袋へ収納している。 6 A4 以下のサイズで折りたたんでいる。 7 製本資料は想定していない。 8 竣工図の PDF は、1 工事 1 ファイルとし、フォルダ構成やファイル名命名規則については、協議の上、定める。 9 紙図面への付箋等の貼付けは想定していない。付箋等がある場合は、その取扱いについて、協議の上、定める。 10 スキャニングに支障する程度の劣化は想定していない。その様な劣化がある場合は、その取扱いについて、協議の上、定める。 11 資料は、電子化作業終了後、速やかに返却すること。 12 スキャニング後の原本は、作業終了後、速やかに返却すること。 13 工事番号の付与は、管渠とマンホールを想定している。 14 GIS データの搭載は受注者が行う。その GIS システムで、調査職員による確認を受ける。

注 質問に対する回答は、入札公告に定める時期及び方法において閲覧に供する。